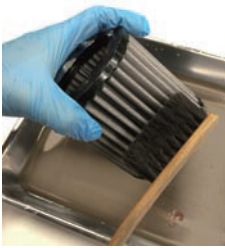


## フィルター洗浄

1. エアクリーナーボックスからフィルターを取り外し、特に汚れている面（外側）に付着したホコリ・チリを乾いた柔らかいブラシで掃くか掃除機で吸い取るなどして落とします。



3. 柔らかいブラシを使い、ぬるま湯でフィルターの汚れを洗い出します。フィルターがきれいになるまでしっかりとゆすいでください。仕上げはたっぷりのぬるま湯を汚れた面からきれいな面へ流し、完全に汚れと洗浄液を洗い流してください。



2. クリーナーボトルの内蓋をプライヤー等で開封してからキャップ先端をハサミでカットしてください。洗浄液がフィルター全体にしっかりと染みる渡るように塗布しまし10分程するとフィルターの汚れが溶け出します。



4. フィルターは自然乾燥させてください。ヘアドライヤーや暖房器具を使つての乾燥は絶対に止めてください。

### ◆注意◆

フィルター洗浄に灯油・石油・ガソリン・シンナー類、指定洗浄剤以外の化学薬品を使用しないでください。また高圧噴射水や高圧エアでの洗浄、乾燥も行わないでください。  
上記の行為はフィルター、コットンの変形や偏りを誘発し性能を著しく低下させる要因となります。また、そのような場合は製品保証の対象外となります。  
アルミ製のものに付着すると、アルミを劣化させる恐れがあります。

## オイル塗布

1. フィルターオイル内蓋をプライヤー等で開封してからキャップ先端をハサミでカットしてください。そして下記のポイントを確認しフィルターにオイルを塗布します。



- フィルターが完全に乾いている事
- フィルターの山折り部分の頂点にボトルの口を這わせ、ゆっくりとボトルの口を移動させてながらオイルを染み込ませます。
- できる限り均一にオイルを塗布してください。
- 折り幅が20mmを超えるフィルターは上記の動作を繰り返し2回オイルを塗布します。
- ボトルの中身(オイル)を一度で全て使い切る必要はありません。

2. フィルターにオイルを塗布した後は、最低1時間は使用しないでください。1時間後にフィルターを目視し、フィルター全体が隙間なく均一に赤色に染まっていることを確認してください。未塗布面がある場合はその部分にのみオイルを追加してください。

- もし過剰にオイルを塗布してしまった場合でも、車両に装着して10~20km走行すれば余分なオイルが飛ばされ、適正なオイル量になります。

### ◆注意◆

DNAエアフィルターには他社のフィルターオイルを塗布しないでください。目詰まりや集塵力低下・吸気効率低下の原因となり、最悪の場合はエンジンの不調の要因となります。また、そのような場合は製品保証の対象外となります。